

令和3年8月18日（水） 南日本新聞特集記事掲載 「すくーる373る 実践報告」

コーディネーター 山本朋弘・中村学園大学教育学部教授・福岡市エドアドバイザー 本田博・鹿児島市教育学校ICT推進センター所長・福山人・徳之島町教育長・北野昭・いちき串木野市ICT教育研究会会長・熊波義一 森本宗行・檜城小学校教諭・古留首徳・成木小学校教諭・波戸三幸・三島竹島学園教諭・渡邊龍輝・菊山久美子・野神小学校教諭・末山幸志・新佐小学校教諭・江口和洋・納富小学校教諭・前田大雅・白田順宗・坂野小学校教諭



国が進めるCIGAスクール構想に伴い、小中学校で1人1台の情報端末が整備され、活用が始まっている。南日本新聞社は7月30日、学校におけるデジタル新聞の活用方法を紹介する報告会をオンラインで開催した。同社が開発した学校向け学習支援サイト「すくーる373る(みなみ)」を使った7校の実践内容と各アドバイザー、コーディネーターの講師を紹介する。(監修 藤原 子、渡辺 祥子)

1人1台で新聞活用
学習支援サイト「すくーる373る」実践報告

情報読み解く力育てる



「オセモコ」の活用を学ぶ中から
学習を進める野神小学校の児童

野神小(志布志市)は、5年生の「オセモコ」(未来を支える新聞)で、すくーる373るを使った、食料生産に注目する「オセモコ」の記事をタブレット端末で読み、記事の活用や自分の考えを述べた。

考えを発表するところが苦手な児童も、機材上は準備ができていたにもかかわらず、不安定な環境で取り組むと、友だちのコメントや「いいね」が送られるのを、やる気が削がれた様子。記事引用も動画で、文章を書くのが苦手な児童も、遠慮を覚えた。一方、情報モラルやリテラシー能力の向上、検索やタイピング技能の習得など、課題も残った。

5年生の授業でタブレット端末を使い、明日の天気予報を見たのは、結佐小(姶良市)。ある児童は、デジタル新聞の「一面」(きょうの天気)を盗んで、昔日間の変化を調べ、結果をグラフ化して発表

野神小「いいね」でやる気 ■ 結佐小スクラップ共有

野神小では新聞に触れる、親しむ活動で環境作りをしている。情報活用能力も育成していきたい。デジタル新聞活用の効果を引き出すには、単元を構築、ねらいを要領しやすい課題を設定する必要があり、研究の実践や年間指導計画の作成が求められている。

(編纂人・徳之島町教育長)

野神小、結佐小両校の実践には「主体的学び」(対話的学び)などの視点がある。

両校とも意識しを持って「主体的」に新聞に取り組んでいた。多様な情報を収集してお互いの考えを比較しながら、それを共有しながらで議論解決し「対話的な学び」が自然とできていた。次の段階ではデジタル新聞の作成など「深い学び」につなげてほしい。

両校は「主体的基礎習得」だ。野神小では新聞に触れる、親しむ活動で環境作りをしている。情報活用能力も育成していきたい。

野神小、結佐小両校の実践には「主体的学び」(対話的学び)などの視点がある。

両校とも意識しを持って「主体的」に新聞に取り組んでいた。多様な情報を収集してお互いの考えを比較しながら、それを共有しながらで議論解決し「対話的な学び」が自然とできていた。次の段階ではデジタル新聞の作成など「深い学び」につなげてほしい。

両校は「主体的基礎習得」だ。野神小では新聞に触れる、親しむ活動で環境作りをしている。情報活用能力も育成していきたい。



機能説明

- 学習支援サイト「すくーる373る」は五つの機能を備える。
- ①授業 教師が教科、単元に関連した記事を登録し、クラスで共有する。子どもたちが記事に意見を書き込む「メモ機能」があり、クラスに公開できる。
 - ②新聞を読む 直近7日分の朝刊の中から「1面」「ひろば面」「地域総合面」「オセモコ面」の紙面が見られる。
 - ③調べる キーワードなどを入れて過去1年分の記事を検索できる。気になる記事にはメモを書き込むことができ、保存してクラスに公開することができる。
 - ④投稿 南日本新聞の投稿コーナー「若い目」「子供のうた」などの作品を子どもが直接入力できる。作品は教師用のシステムで校正後、新聞社に投稿する。
 - ⑤クイズ 「ミナミさんちのクイズ」から5問が出題される。それぞれの出題に解説も付く。

「すくーる373る」の機能や使い方、実践事例を紹介したホームページがあります。右のQRコードから入れます。南日本新聞社読者センター＝099(813)5111

